

しんろ 進路だより

けんりつむかい おかこうぎょうこうとうがっこう ていじせいそうごうがつか
県立向の岡工業高等学校 定時制総合学科

がくしゅうしえん れいわ ねん がつ にちはっこう だい ごう
学習支援グループ 令和4年2月28日発行 (第216号)

ぜんねんじ
【全年次】

Classroomでも配信しています。

とりつ しょくぎょうぎじゅつこう すいせんにゆうこうせんこうしけん めいごうかく ざいこうせい はじ
都立の職業技術校に推薦入校選考試験で1名合格、在校生では初めて
とりつじょうなんしよくぎょうのうりよくかいはつ おおたこう こうこくびじゅつかごうかく
都立城南職業能力開発センター大田校 広告美術科合格

とりつじょうなんしよくぎょうのうりよくかいはつ おおたこう とうきょうと
都立城南職業能力開発センター大田校（東京都
おおたく）の広告美術科に1名合格しました。入校試験

は、推薦入校選考試験を利用し、入校願書（本人

作成）、推薦書（学校作成）、調査書（学校作成）の

書類と、当日行われる面接と作文により合否が決まり

ます。

こんかいごうかく せいと そつぎょう まえ しんろ すず かんが
今回合格した生徒は、卒業を前にして、どのような進路に進むべきかいろいろ考え

ました。なつやす ふくすう きぎょう ぎじゅつこう たいけん い じぶん しょうらい しごと かんが
夏休みは複数の企業や技術校へ体験に行き、自分の将来の仕事を考えるよう

にしました。その中で見つけたのが都立城南職業能力開発センター大田校の広告

びじゅつか
美術科だったので。

(1) 「都立城南職業能力開発センター」とは、どんなところ？

かな が わけんりつ しょくぎょうぎじゅつこう さんぎょうぎじゅつたんきだいがっこう など
神奈川県立の職業技術校として「かなテクカレッジ」「産業技術短期大学校」等が
あります。それらと同じで、東京都立の職業技術校です。

(2) 「広告美術科」は何を学ぶところ？

わたし にちじょうおお おくない がい こうこくぶつ
私たちは日常多くの屋内・外の広告物やサイン、ディ

スプレイを見て生活しています。しょうぎょうてき こうこく
商業的な広告ボード、

てんぽ かんぼん しゃたい りょう こうこく まち いろど
店舗の看板、車体を利用した広告や街を彩るディスプレイ

イ、駅や公園等の案内、誘導サイン等の公共的なものな

どさまざま ひょうげん げんだいしゃかい
ど様々に表現されています。これらは、現代社会のコミ

ュニケーション手段としてかかせないものといえます。

こうこくびじゅつか おくない がい こうこくぶつ そうしょく てんじ かんれん
広告美術科では、屋内・外の広告物やサイン、ディスプレイ、装飾・展示に関連した

必要の知識、技術の習得を目指します。しゅうしょくさき こうこくせいさくがいしゃ せこうがいしゃ
就職先は広告制作会社、施工会社、ディスプ

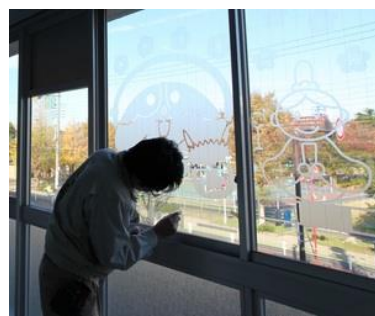
レイ制作会社、イベント等の企画を行う会社、広告代理店、企画デザイン会社等です。

(3) 費用はどのくらいかかる？

むりょう ゆうりょう ゆうりょう ばあい ねんがく えん
無料のコースと有料のコースがあります。有料の場合、年額118,800円です。ただ



免震構造の新校舎で受講できます



ウィンドウフィルムの施工実習

し、^{けんりつ} 県立の ^{しょくぎょうぎじゅつこう} 職業技術校と同様に、^{どうよう} ご家庭の ^{かてい} 経済 ^{けいざい} 状況 ^{じょうきょう} によっては ^{じゅぎょうりょう} 授業料 ^{げんめん} の ^そ 減免 ^ち 措置 ^さ を受けることができます。^{じゅぎょうりょう} 授業料等が不足する場合には、^{にほんがくせいしえんきこう} 日本学生支援機構の ^{しょうがくきん} 奨学金は使えませんが、^{ぎのうしゃいくせいしきん} 技能者育成資金の ^{かじつけせいど} 貸付制度があります。また、^{こうこくびじゅつか} 広告美術科では ^{ざいりょうひ} 材料費の ^じ 自己 ^{こふたん} 負担 ^{きほんてき} は基本的にはありません。

なお、^{いっぺい} 一定の ^{じょうけん} 条件 ^み を満たせば、^{きゅうしゅくしゃしえんせいど} 求職者支援制度により「^{つき} 月 ^{まんえん} 10万円」「^{こうつうひ} 交通費」を ^{へんさい} 返済 ^{ひつよう} の ^な 必要 ^{きゅうふきん} が無い「^{じゅぎゅう} 給付金」として ^{じゅぎゅう} 受給 ^{じゅぎゅう} することができます。

(4) ^{とりつ} 都立 ^{けんがい} は ^と 県外 ^と だから ^と 遠い？

^{とお} 遠く ^{かよ} て ^{むずか} 通う ^{とりつしゅくぎょうのうりよくかいほつ} ことが ^{こんかい} 難しい ^と 都立 ^と 職業 ^と 能力 ^と 開発 ^と センター ^と も ^と あります。ただし、^{ごうかく} 今回 ^と 合格 ^と となった ^と 都立 ^と 城南 ^と 職業 ^と 能力 ^と 開発 ^と センター ^と は ^く 久地 ^と 駅 ^と から ^じ 1 ^と 時間 ^と 程度 ^と で ^{かよ} 通う ^と ことができる ^と ので、^す 住 ^と ん ^と で ^と いる ^と 場所 ^と によっては ^{けんりつしゅくぎょうぎじゅつこう} 県立 ^と 職業 ^と 技術 ^と 校 ^と より ^と も ^と 通学 ^と 時間 ^と が ^{みじか} 短い ^と 場合 ^と も ^と あります。

(5) ^{けんがくかい} 見学会 ^{たいけんにゅうこう}、^と 体験 ^と 入校

^{しょくぎょうのうりよくかいほつ} 「^{かかもく} 職業 ^と 能力 ^と 開発 ^と センター ^と には ^{まな} どのような ^と 科目 ^と がある？」^と 「^と どのような ^と ことが ^と 学 ^と べる ^と の ^と かな？」^と 「^{ふんいき} どのような ^と 雰囲気？」^と 等の ^と 疑問 ^と に ^と 答 ^と えて ^と いただけ ^と る ^と 「^{けんがくかい} 見学会 ^{たいけんにゅうこう}」「^{こんねんど} 体験 ^と 入校」^と は、^{しゅうりょう} 今年度 ^と は ^{らいねんど} 終了 ^と している ^と ので、^{さんか} 来年度 ^と に ^と ぜひ ^と 参加 ^と して ^と みましょう。また、^{こんねんどちゅう} 今年度 ^と 中 ^と であっても ^{こべつけんがく} 個別 ^と 見学 ^と は ^か 可能 ^と です ^と ので ^と 興味 ^と の ^と ある ^と 生徒 ^と は ^{しんろたんとう} 進路 ^と 担当 ^と に ^と 相談 ^と して ^と みましょう。

アルバイトの正しい辞め方

^{しゅうしょく} 就職 ^{しょくぎょうぎじゅつこうにゅうこう} や ^{しゅうしょく} 職業 ^と 技術 ^と 校 ^と 入校 ^と 等で ^{ひつよう} アルバイト ^と を ^{そつぎょう} やめる ^と 必要 ^と の ^と ある ^と 卒業 ^と 予定 ^と の ^{せいと} 生徒 ^と は、^{はや} 早 ^と め ^と に ^と アルバイト ^と を ^や 辞 ^と める ^と 手続 ^と き ^と を ^と り ^と まし ^と ょう。「^か 代 ^と わりの ^と 人 ^と が ^{ひと} 来 ^と ない ^と と ^と 辞 ^と め ^と ら ^と れ ^と ない」^と 等 ^と と言 ^と われた ^と 場合 ^と には、^{ばあい} すぐ ^と に ^{ほごしゃ} 保護 ^と 者 ^と の ^{かた} 方 ^と や ^{きょういん} 教員 ^と に ^と 相談 ^と して ^と みましょう。

ポイント① ^{げつまえ} 1 ^{じょうし} か ^{つた} 月前 ^と に ^と 上司 ^と に ^と 伝 ^と える

^{ろうどうきじゅんほうじょう} 労働 ^と 基準 ^と 法 ^と 上 ^と は、^{しゅうかんまえ} 2 ^と 週間 ^と 前 ^と に ^や 辞 ^と める ^と 意志 ^と を ^い 伝 ^と え ^と れ ^と ば ^{たいしょく} 退職 ^と する ^と こと ^と は ^と でき ^と ます ^と が、^{げつまえ} 1 ^と か ^{つた} 月前 ^と に ^{いっぱんてき} 伝 ^と える ^と の ^と が ^と 一般 ^と 的 ^と です。

ポイント② ^{ゆうきゅうきゅうか} 有 ^{つか} 給 ^き 休暇 ^と は ^と 使 ^と い ^と 切 ^と る

アルバイト ^と の ^と 場合 ^と であっても ^と 雇用 ^と 期間 ^と や ^と 労働 ^と 日 ^と 数 ^と に ^と 応 ^と じた ^と 有 ^と 給 ^と 休暇 ^と が ^ふ 付 ^と 与 ^と され ^と ます。^{ゆうきゅうきゅうか} 有 ^と 給 ^と 休暇 ^と は ^{ろうどうしゃ} 労働 ^と 者 ^と の ^{けんり} 権利 ^と です。^{せつきよくてき} 積極 ^と 的 ^と に ^と 行 ^と 使 ^と しま ^と し ^と ょう。

ポイント③ ^や 辞 ^と める ^と 時 ^と の ^と マ ^と ナ ^と ー

^{たいよひん} 貸 ^と 与 ^と 品 ^と の ^{へんきやく} 返 ^と 却 ^と、^{しぶつ} 私 ^と 物 ^と の ^も 持 ^と ち ^と 帰 ^と り ^と 等 ^と は ^{かえ} 早 ^と め ^と に ^と しま ^と し ^と ょう。また、^{たいしょく} 退職 ^と 時 ^と には ^{あいさつ} 挨拶 ^と を ^と 求 ^と め ^と ら ^と れ ^と る ^と ケ ^と ース ^と も ^と あり ^と ます。^{ようい} コメント ^と を ^と 用 ^と 意 ^と して ^と お ^と き ^と ま ^と し ^と ょう。